

楽しい道を じゃないけど 楽しい道を

Try
Something New
『新しいことに挑戦』

第2回進路希望調査について

前号に記載したように、3年生向けに2回目の希望調査を行っています。夏休み中に体験学習や学校説明会に各自で積極的に参加している人も多くいたようです。今までに参加した説明会などのアンケートもとりました。その経験も生かして、2回目の希望調査の記入をお願いします。

提出期限：9月5日（木）

●希望についての考え方

一番行きたい学校を第一希望にして下さい。そして「第一希望を、もっとも合格する可能性の高い方法で受験（受検）する。」これが普通の考え方です。

<全日制 公立 前期選抜 について>

●希望校の欄

平成26年度の公立入試制度改革から、全ての学科・コースで前期選抜が実施されるようになりましたが、受検できるのは1校だけです。（第二希望は出来ません）また、学科によって募集の割合が定員の30%～100%までと様々です。自分が希望する学科の募集定員の割合も、よく確認しましょう。

●学科ごとの募集割合

普通科：定員の30%。中期選抜の方が、募集定員が多い。

職業に関する専門学科：定員の70%。前期から受検した方が有利。

しかし、届かなかった場合でも、もう一回チャンスがある。

他の専門学科：定員のすべて。堀川の探究学科群や、西京のエンタープライジング、嵯峨野の京都こすもす、山城の文理総合などの専門学科及び、スポーツ総合専攻（旧Ⅲ類体育系）は、前期選抜で、定員の100%を募集するので、中期選抜では受検できません。

●受検方法

前期選抜には大きく3通りの受検方式があり、一つの学科で複数の受検方式が用意されているので、自分の希望する学科が、どの選抜方式を採用しているか、詳しく調べておきましょう。

A1方式 学力検査+報告書

A2方式 学力検査+報告書+実績報告書

B方式 報告書+作文・面接

C方式 学力検査+報告書+実技検査

詳細は、学校毎に微妙に異なります。選抜要項に細かく説明されているので、各自でよく確認しましょう。

<全日制 公立 中期選抜 について>

希望は「第一志望 第一順位」／「第一志望 第二順位」／「第二志望」の3つまで記入することができます。合否の判定は、「第一志望第一順位」が優先され、第一ステップで中期募集人数の90%を合格とします。次は、第二ステップで残りの10%を「第一順位」の残りの受検者と、他校を「第一順位」で受検し不合格となった者を併せた中から、上位の者が合格となります。この段階で、定員が埋まらなかった場合は、「第二志望」の者の中から定員が埋まるまで合格となります。

（第二志望が生かされるのは、定員割れがおこった場合だけです）

※希望がなければ、第一志望第一順位だけの記入でもよい。

<私学希望について>

前回の希望調査では、私学を希望する人で学校名や学科名が未定の人がありました。たとえ併願受験であってもしっかりと調べたり、家族の方とじっくり話し合っておきましょう。またわかる範囲でいいので、どの日程で受験するかも記入してください。

☆高校についての情報☆

<公立高校について>

- ・「2019京都府公立高等学校スクールガイド」
- ・京都府教育庁指導部高校教育課 http://www.kyoto-be.ne.jp/koukyou/cms/?page_id=246

<京都市立の公立高校について>

- ・京都市教育委員会学校指導課(Kyoto City High Schools) <http://www.kyotocity-hs.jp/>

<私立高校について>

- ・「2020 京都私立中学・高校ガイド」
- ・京都府私立中学高等学校連合会 <https://www.kyotoshigaku.gr.jp/>

(注意)

- ・野球部の体験に参加する場合は「同意書」が必要です。
必ず担任の先生に連絡をして必要な手続きをとってください。
- ・他府県への転出予定のある人や、他府県の公立・私立高校の受検を考えている人は、個人的に情報を集めておいてください。
- ・奨学金に関して、中学校から奨学金貸与の予約ができます。京都府高等学校就学資金貸与（収入の基準あり、9月ごろ案内予定）など、情報提供していきます。

<京都府の公立高校の令和2年度入試に関する変更点>

8月26日京都新聞朝刊に、令和2年度の公立高校入試の日程と変更についての記事が掲載されました。京都府の公立中学校卒業見込み生徒数が466人減少であるのに対して、京都府の公立高校募集定員は全体で314人減らすということでした。おもな公立高校の募集変更は以下の通りです。

- ・単位制への変更：山城、鳥羽、亀岡など
- ・学科等改編：北桑田高校（森林リサーチ科→京都フォレスト科）亀岡高校（数理科学科→探究文理科）農芸高校（農産バイオ科、環境緑地科→農業生産科、園芸技術科、環境創造科）など
- ・募集定員：

変更内容	高校	学科	募集定員	増減
定員	北稜	普通	240	△40
	鳥羽	普通	160	△40
	亀岡	普通（美術・工芸専攻）	30	△10
	農芸	農業生産科、園芸技術科、環境創造科	100	△10
	須知	食品科学科	30	△10

*上記は変更の一部のみですので、説明会に参加するなどして自分でもよく確認をしておいてください。

☆五ツ木模試申し込み☆

五ツ木模試（10月6日実施分）の申し込みが9月19日（木）朝・西門で行われます。各教室に案内が吊り下げられますので、希望者は費用と一緒に19日に申込を行ってください。